



●稲敷市・姉妹都市交流委員会広報紙●

姉妹都市

— 世界は君を待っている —

Sister Cities



サーモンアーム

No. 15
2010. 3



サーモンアーム市から稲敷市へ

・日本文化の体験・東京研修 ～日本滞在記～

・ホストファミリーの受入れ体験記

ホームステイ体験発表・交流会

親善大使カナダ・サーモンアーム市へ ～派遣概要～

カナダ訪問団団長挨拶及び吉田新会長挨拶

第4回 受入れホストファミリー名簿

飯塚 悠貴(中2)	高柳 光輝(中2)
野友 翔太(中2)	小貫 智晴(高2)
薄井 基(高1)	手塚裕之介(高3)
大和田恵佑(高1)	田中 陽菜(中2)
野澤 千紘(中3)	黒田 奈樹(中3)
坂本 江身(高1)	甲賀あすか(高2)
根本 彩花(高2)	松田 麗(高1)
根本 安里(高1)	佐藤 花梨(中2)
廣瀬美沙紀(高3)	内藤友梨恵(大2)
小川喜三雄(一般)	宮本 隆典(一般)
柳町 政広(一般)	岡野福次郎(一般)
松浦 規(一般)	※学年は受入れ当時

受入れ(H21.3.24~3.31)



折り紙に夢中



太鼓を叩くのって楽しい



学校給食を体験！



東京一泊研修

ディズニーシーにて



遊覧船に乗って



着物で太鼓に挑戦！
真剣です



茶道でしとやかに



さよならパーティにて

薄井 基

我が家ではこれまでに、3回受け入れをしました。そのうちの2回は、私が中1の時にカナダでお世話になったホストのマイクです。受け入れている間は私の部屋に布団を敷き、音楽を聴いたり、DVDを見たりしてずっと一緒に過ごしました。数名で電車で成田へ買い物に行ったことも思い出です。生活を一緒にすることで、カナダの面白い習慣を知ることができました。今でも彼とはメールや手紙で親交が続き、まるで異国の兄弟のようです。これからもこの関係が続けられればと思います。

皆さんも受入れ交流をしてみたいはかがですか？

受入れ時の主なスケジュール

- ・対面式
- ・中学校交流会(桜川中学校)
- ・市内施設見学(大杉神社・歴史民俗資料館・図書館)
- ・東京一泊研修(東京ディズニーシー お台場散策・隅田川遊覧船、浅草散策)
- ・さよならパーティ

田中 陽菜

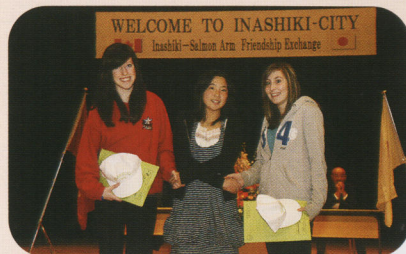
初めての経験で戸惑いもたくさんありましたが、受け入れた女の子2人は、明るく好奇心あふれ、すぐに打ち解け、不安も消え賑やかで楽しい毎日でした。

言語や生活、文化の違いはたくさんありましたが、お互いの気持ちを分かち合い、とても良い経験となり、この出会いを大切にしたいです。

私は、以前、カナダにホームステイをしたこともあり、遠く離れた国、カナダが今まで以上に身近に感じることができ、好きな英語が、ますます好きになり、これからも国際交流事業に参加していきたいです。

ひびけ若人の声 ふれあう笑顔

一受入れ事業に参加して一



対面式で「はじめまして」

一ホームステイ体験発表・交流会一



発表会の風景



英会話研修



発表者へ記念品の贈呈

体験発表の感想

体験発表で伝えたかったことは？

- ・英語は伝える気持ちが大事。 ・とにかく楽しかった。
- ・カナダ訪問が自分にもたらす恩恵及び自分の考え、将来への影響の大きさ。

発表を行ってみたいの感想

- ・他の体験者の方々からの目線での意見を聞くことができ、非常に参考になった。
- ・多方面の角度から自らの体験を見つめるきっかけになり、とてもよかった。

発表を聞いての感想

- ・ホームステイをした人の声を間近で聞くことができ、不安も少し無くなったので、来年もし機会があればぜひ行きたいと思いました。
- ・ホームステイの楽しさなどが分かってよかった。

ホームステイを体験した人たちのメッセージ

・上手でなくても(単語だけでもよいから)話そうとする気持ちが大切。

・何よりもチャレンジすることが大事。行動しないと自分の実力が分からないから、あの時こうしていたらなど、悔いが残らないように。

青少年親善大使カナダ・サーモンアームへ

稲敷市では毎年夏に青少年親善大使派遣事業として、姉妹都市関係にあるカナダ・サーモンアーム市へ中学生・高校生を派遣しています。(21年度は新型コロナウイルス流行の為に中止)

一週間のホームステイ生活を通じ、海外での家庭生活や大自然の迫力を体験します。

ミドルスクール訪問やバンフ見学、コロンビア大氷原見学、交流会などカナダの魅力がたくさん詰まった内容が計画されています。

派遣時の主なスケジュール(H20年度)

- ・歓迎式
- ・「友情の門」見学
- ・シューズワップ・ミドルスクール訪問
- ・ラフティング
- ・ハウスボート
- ・さよならパーティ
- ・バンフ見学
- ・コロンビア大氷原見学



コロンビア大氷原見学
光まばゆい 大氷河にて

ラフティングに挑戦
激流へ さあ出発！





Greetings from Canada! カナダからこんにちは!

2009年親善使節団

団長 Catherine Auten

It was an honour and privilege to have been a part of the 2009 Inashiki-Salmon Arm Exchange Trip.

Our exchange program allows us to share our history, our traditions, and our culture. Together, we talk, laugh, share meals, build friendships, celebrate and create memories that last a lifetime. We begin to understand that although we are geographically separated, we are part of the global village.

The strength and foundation of this program is built by all individuals who participate. To our host families, the organizing committee and the countless volunteers who helped us to experience the rich culture and tradition of Japan, we send our many thanks. You helped to bring the knowledge and wisdom of your wonderful country into our understanding and for that we are truly appreciative.

2010 will be the twentieth year that our sister cities have participated in this exchange. We look forward to many more years of exchanging ideas, families, languages and congeniality, and in strengthening the bond that ties our two nations together.

(要旨) 2009年の稲敷市―サーモンアームの交換交流に参加することができて光栄に思います。

交流事業によって歴史、伝統、文化を共有することができました。一緒に話し、笑い、食事をともにすることで友情を育み、生涯続く思い出を作りました。我々は地理的には離れてはいますが、同じグローバル・ヴィレッジ(地球村)の一部であると理解し始めています。

この交流事業の基盤は参加した全ての人々によって築かれており、日本の豊かな文化や伝統を経験させてくれたホストファミリー・交流委員会・たくさんのボランティアの方々へ深く御礼を申し上げます。皆様のおかげで、私たちはあなた方の素晴らしい国の知識を理解できたことに本当に感謝しております。

2010年は姉妹都市交流を始めてから20周年になります。我々の2つの国を結ぶ絆を深めるために未長く意見や家族、言葉の交換が続くことを期待しております。



「サーモンアームとの交換交流 “20 Anniversary”を祝す」

姉妹都市交流委員会

会長 吉田 多嘉子

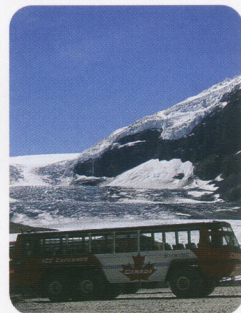
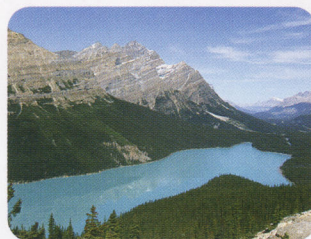
今年度、姉妹都市交流委員会の会長という任を引き受け、その重さを認識しました。いきなり新型インフルエン

ザによる派遣中止、これは苦渋の選択でした。

残念でしたがそれに代わって「ホームステイ体験発表会」を開きました。生の体験を聞き、映像で振り返る交流の歩みを確認かめ合っ一つ大きな収穫を得ました。

22年度は、東町での誕生から数えて20周年記念の年になります。この会は現在約60名の会員数を擁し、交換交流に送った生徒は360余名にものぼります。子供たちがインターナショナルである為に皆様のご支援を願っています。

カナダの風景



雄大なカナダの自然風景を集めてみました。



INFORMATION

○サーモンアーム市親善使節団来日

3月24日から3月31日までの間、カナダ・サーモンアーム市より親善使節団が稲敷市を訪れ、ホームステイにより市民の皆さんと交流を深める予定です。見かけたら気軽に声をかけてください。

○「友情の家」貸出し

サーモンアーム市から贈られた「友情の家」(あずま生涯学習センター一隣)では、バーベキュー等が楽しめます。利用希望者は、あずま生涯学習センター：0299-79-0053へお申し込み下さい。

○会員募集! あなたも国際交流しませんか?

稲敷市では国際交流に関わる各団体の会員を募集しています。

・姉妹都市交流委員会

姉妹都市派遣事業、ホームステイ受入事業など稲敷市の実施する幅広い姉妹都市(サーモンアーム市)との活動に協力し、民間交流活動を展開しています。

・日本語サークルがほちゃ

毎週水曜日、昼と夜の2回、市内及び近隣に住む外国人を対象に、日常会話を中心とした日本語を教えています。

※問い合わせ・申込みは企画課(029-892-2000)まで

○稲敷市ホームページをご覧ください

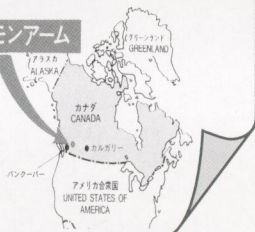
この姉妹都市交流事業(海外派遣・サーモンアーム受入れ)の詳細は稲敷市HP

<http://www.city.inashiki.lg.jp/>

(市政→プロフィール→姉妹都市・

国際交流事業)内に掲載されています。

青少年親善大使派遣、使節団受入れの募集についても、公募しています。



表紙の写真について

市内見学の1コマ。大杉神社で撮った一枚です。御祈禱をして頂きました(写真右)。日本の歴史的建造物にみんな興味津々でした。



交流委員会役員

○会長	吉田多嘉子		
○副会長	石井 道朗	小川喜三雄	
○理事	岡野福次郎	小川 成子	小島 綾子
	永長 均	水飼 敏枝	山本 彰治
○監事	姥貝 守	黒田 保彦	

交流委員会広報委員

○委員長	山本 彰治		
	石井 道朗	小川 成子	高城 厚子 戸澤 公子

編集後記

当たり前のことですが…。世界は広いです。インターネットは外国を身近にさせてくれます。世界のニュースも毎日、目にします。国際空港は、すぐそこにあります。……でも、なかなか、国際交流の一步が踏み出せません。そんな人の背中を少しでも押してあげることができれば幸いです。今回の広報紙もそんな思いを込めて編集しました。(山本)

編集：稲敷市企画課国際交流担当
姉妹都市交流委員会広報委員